

# 糖尿病、足病変を解説

来月7日、大分大学  
病院で「八方塾」

大分大学病院は9月7日午後6時から、由布市の同病院で市民公開講座「第

9回八方塾」を開催する。テーマは「糖尿病と足病変について」。入場無料。

問い合わせは同大学医学部医事課患者サービス係（☎097・586・543

0、月曜から金曜の午前9時から午後5時まで）。各講師は次のように話し、

来場を呼び掛けている。

▼大分大病院内分泌糖尿 血流障害が進行すると、足 いたわっていますか？」

病内科 岡本光弘医師 の潰瘍を患ったり、皮膚や 糖尿病による足病変は、



について知ろう」

糖尿病で血糖値の高い状

態が続くと、全身の血管が

ダメージを受け、徐々に合

併症が進行します。合併症

の中で最も起きやすいの

が、手足の先の感覚が鈍く

なる糖尿病性神経障害で

す。けがややけどに気付き

にくくなったり、靴擦れな

どの小さな傷口が治らずに

化膿するようになります。

講演テ  
ーマ「糖  
尿病と足  
病変、フ  
ットケア

と足を切断することがあり

ます。今回は糖尿病足病変

の症状や重症化を防ぐため

のフットケアについて講演

します。

▼大分大病院看護部 大

末美代子糖尿病看護認定看

護師

講演テ

ーマ「体

や生活を

支える大

きつかけとして、血糖のコ  
ントロールの状態、生活習  
慣やセルフケア状況などに  
左右されて発症します。

重症化すると足を切断し

なければならなくなること

もあり、入院や手術、リハ

ビリ、日常生活を支える道

具などに多くの医療費がか

かります。寝たきりになる

場合もあり、生活の質の低

下につながりかねません。

足病変や発症後の重症化

を予防するためにはフット

ケアが重要となります。足

巻き爪などはありませんか  
？ 今回は足の観察ポイン  
トやフットケアの方法につ  
いて説明します。



さらに、動脈硬化による